

財団の講座などの新着情報等をお伝えすることを目的に始めた「メールマガジン」ですが、おかげさまで、今回が創刊から 100 号目を迎えました。メルマガの第 1 回配信日は 2013 年 11 月 18 日で、以来 8 年 4 か月が経過して今回に至ります。初回の登録件数は 63 件、平成の最後に当たる平成 30 年（2018 年）度末では 211 件、2022 年 1 月時点では 272 件と増加の一途にあります。

創刊の挨拶には、「いよいよメールマガジン創刊となりました。皆様のお役に立てる内容にしていきたいと思います。お友だちにもご紹介をお願いします。これからもよろしくお願いいたします。」とあるように、多くは口コミで広がったのではないのでしょうか。読者の皆様のご支援に深く感謝しております。

配信を始めた経緯については文書で確認できないのですが、その背景としてはメルマガの受信環境の発達が浮かびます。すなわち、携帯電話（ケータイ）やスマートフォン（スマホ）の普及拡大と、殊にスマホの優れた機能の向上によるものと思います。

国内では 2008 年にスマホの先駆けである「iPhone」の販売が始まりますが、総務省の「令和 2 年情報通信白書」等を基に調べたところ、世帯におけるスマホの保有率は、2010 年は 9.7%、2011 年は 29.3%、2012 年は 49.5%、メルマガ初年の 2013 年では 62.6%と急速に増え続けています。この後も緩やかに伸び続け、2019 年には 83.4%となり、パソコンの世帯保有率 69.1%を上回る状況に至っています。スマホの普及によって、いつでも、どこでもインターネットに繋がる世界が広く開拓された訳ですから、2013 年に「メールマガジンを始めよう」と決断したことは時機を得たものだと思います。

改めて申すまでもありませんが、ケータイの時代は、電話とメールの機能が中心でしたが、スマホは驚くべき速さでサービスを拡大しています。初期の頃は、情報収集、SNS、動画や音楽の配信などが中心だったものが、「おサイフケータイ」などの電子決済、「LINE」などのメッセージアプリなど、モバイル端末ならではの活用が広まりました。

その他、鉄道やバスの PASMO や Suica としての利用、金融機関の預金残高の確認や振込、ネット通販などもスマホを使って可能になっており、私たちの生活に欠かせないものとなっています。更には、コロナワクチン接種のネット予約では混乱が見られましたが、スマホやパソコンを使えることは生活上必須のことにもなりつつあります。

昨今のコロナ禍において、急速にオンライン会議やリモート学習などが進んだように、社会状況の変化に対応して、学習の在り方、仕事の仕方にも変化が生じると言えるでしょう。

今後、スマホの進歩が更にどのような世界を展開させるか、想像が難しいところですが、生涯学習や財団の運営においても、オンライン講座やスマホ決済など、高度な機能の活用をいかに図るかが大きな課題になるかと思います。イノベーションは楽しみでもあります、重い課題を背負うことになるかもしれません。果たして、8 年余り後、メルマガが「第 200 号」を迎える頃、スマホでは更に何ができるようになるか、想像してみませんか。（N.W）